

静岡大学農学部と「ネイチャーポジティブ」をテーマとした講演会を実施しました

株式会社ノダと静岡大学農学部（所在地：静岡県静岡市）は「ネイチャーポジティブ（自然再生）」をテーマとする農学教育の推進を目的に締結した産学連携に基づき、「ネイチャーポジティブの実現と価値創造について～森林を利用した健全な社会の構築にむけて～」と題して京都大学エネルギー理工学研究所特任教授柴田大輔先生を招き、静岡大学農学部の1年生 180 名が出席するなか 2025 年 9 月 30 日に静岡大学農学部にて講演会を開催しました。

地球温暖化や気候変動が急速に進み生物多様性が失われている現状を鑑み、一企業としても森林循環の健全性を目指す観点から、経済活動を通じて温室効果ガスの削減や森林資源の持続的な利用をはじめとしたネイチャーポジティブの実現に深く関与する必要があります。人間社会と自然との Win-Win な関係を構築する際に生じるコンフリクト（課題）やジレンマの存在を正しく認識した上で課題や対立を解消するためには自由闊達なイノベーション（価値創造）が必要となります。

当社は、創業から一貫して「木」を原料に事業を展開しており、森林を豊かにするために国産材合板の原料として間伐材を積極的に利用し、木を無駄なく使うため主に解体建築材や生産過程で生じた端材からリサイクル製品であるMDF（中質繊維板）を生産しています。今後も木材の利用価値を広めるための新たな用途開発に努めていきます。

2025年9月30日13時30分～
静岡大学農学部 大講義室

基調講演
ネイチャーポジティブの実現と価値創造について
ー 森林を利用した健全な社会の構築にむけて ー

京都大学エネルギー理工学研究所
特任教授 柴田 大輔

静岡大学卒業後に
日本や世界で活躍するための
ヒントを紹介します




今回の産学連携を通じてネイチャーポジティブの実現には経済活動との結びつきや後押しが必要であることを理解するとともに日本の貴重な資源である「木」の持つ可能性を静岡大学農学部と共同で価値創造し、社会に直結する充実した農学部教育の確立を支援しながら様々なシーンや場所で「木」が利用され安らぎや癒しの空間創造につなげていきたいと考えています。



今後は、森林視察及び当社工場見学を予定しています。現地で林業従事者の皆様の声を聴き、林業や木材利用の現状を通じてこの森林をどう守り、育て、活かしていくべきかを創造し、一人でも多くの学生がネイチャーポジティブの取り組みに興味関心を持ち、未来を担う人材が輩出されることを期待します。